

# 日本の原風景を描く 広重の「東海道五拾三次」と現代作家たち



2014年7月19日（土）－2014年9月28日（日）

ベルナール・ビュフェ美術館

## News Release

## 【展覧会情報】

展覧会名 | 日本の原風景を描く 広重の「東海道五拾三次」と現代作家たち

会 期 | 2014年7月19日(土)－2014年9月28日(日)

主 催 | ベルナール・ビュフェ美術館

後 援 | 静岡県教育委員会 長泉町教育委員会 静岡新聞社・静岡放送

開館時間 | 7・8月 10:00－18:00／9月 10:00－17:00

\*入館は閉館の30分前まで

休 館 日 | 水曜日 \*8月13日(水)は開館

入 館 料 | 大人:1,000円(900円)／高・大学生:500円(400円)／小中学生:無料

\*()内は20名様以上の団体割引

会 場 | ベルナール・ビュフェ美術館別館2階

〒411-0931 静岡県長泉町東野クレマチスの丘(スルガ平)515-57

TEL.055-986-1300 FAX.055-987-5511 [www.buffer-museum.jp](http://www.buffer-museum.jp)

## 【展覧会概要】

ベルナール・ビュフェ美術館では、浮世絵師・歌川広重(1797-1858)による保永堂版「東海道五拾三次」と、広重の作品にインスピレーションを得た現代作家たちによる作品を紹介する展覧会を開催いたします。

広重の最高傑作として知られる保永堂版「東海道五拾三次」は、街道沿いの土地の風土を、四季の移り変わりや時間とともに、詩情あふれる描写で描き出します。広重による「東海道五拾三次」は、それぞれの土地の風景のなかに、多彩で豊かな人物描写があることでも知られ、その人間味溢れる作品世界は、現代においても多くの作家たちの心をとらえています。

イケムラレイコ(1951-)はヨーロッパを拠点とした活動を行う、人間の存在を根源的に問い続けてきた作家です。震災以降、日本の原風景を描き出したと言われる広重の「東海道五拾三次」と対話をはじめ、自身の詩とともに、新たなシリーズを生み出しています。

山口晃(1969-)は、大和絵風の細密画のなかに、武士や現代人を共存させ、過去の様式と対話しながら、近代批判の精神をユーモラスに描きます。山口は三島周辺で目にした三嶋大社や神社などを、独自の解釈で表現し、新しい風景をつくり出しています。

竹崎和征(1976-)は、「広重はぼくのヒーロー」と語り、三島周辺に滞在し、魅了された源兵衛川や柿田川で感じた風景を、自身がとらえた事象を、絵画とインスタレーションとして構築します。

本展覧会では、広重の「東海道五拾三次」の魅力を再発見し、現代作家たちの作品とともに、来館者それぞれの原風景についても考える機会となれば幸いです。

## News Release

## 【作家紹介】

**歌川 広重** | 寛政6年(1797)江戸生まれ。

15歳の時、歌川豊広(1773-1830)に入門し、翌年に雅号・広重を与えられる。天保2年(1831)「東都名所」を発表し、風景画家として本格的に制作し始める。その後、保永堂版「東海道五拾三次」や「木曾海道六拾九次」などの街道絵シリーズで名声を獲得する。晩年に安政3年(1856)から制作した「名所江戸百景」や「富士三十六景」などの風景画揃物がある。



歌川広重「東海道五拾三次」保永堂版《沼津 黄昏図》1833年頃

**イケムラレイコ** | 1951年三重県津市生まれ。

1970-72年大阪外国語大学スペイン語科に在籍。1972年、スペインに渡りセビリア美術大学に学ぶ。1979年にスイス、1983年にケルンに移り、現在はベルリンを拠点に活動を行う。1991年よりベルリン芸術大学(UdK)教授。2009年アウグスト・マッケ賞を受賞。主な個展に2006年個展「うみのこ u mi no ko」をヴァンジ彫刻庭園美術館にて開催。2011-12年回顧展「イケムラレイコ うつりゆくもの」を東京国立近代美術館と三重県立美術館にて開催。2014年個展「イケムラレイコ PLOON(ぴよ〜ん)」をヴァンジ彫刻庭園美術館にて開催。

**山口 晃** | 1969年東京生まれ、群馬県桐生市に育つ。

1994年東京藝術大学美術学部絵画科油彩専攻卒業。96年同大学院美術研究科絵画専攻(油彩)修士課程修了。2001年第4回岡本太郎記念現代芸術大賞優秀賞。2013年自著『へんな日本美術史』(祥伝社)で第12回小林秀雄賞受賞。主な展覧会に、2007年「アートで候。会田誠 山口晃展」(上野の森美術館)、2011年グループ展「Bye Bye Kitty!!!」展(ジャパンソサエティ、NY)、「東海道 新風景—山口晃と竹崎和征」(ヴァンジ彫刻庭園美術館)。2012年個展(メゾンエルメス8階フォーラム、東京)、また同年秋より約1年をかけて美術館「えき」KYOTO、そごう美術館、新潟市美術館にて巡回展を開催。2013年個展「山口晃展 画業ほぼ総覧—お絵描きから現在まで」(群馬県立館林美術館)。2015年2月より水戸芸術館にて個展開催予定。2012年に平等院養林庵書院に襖絵を奉納。近著に『山口晃大画面作品集』(青幻舎)、『すゞしろ日記 弐』(羽鳥書店)。

**竹崎 和征** | 1976年高知県生まれ。

1999年高知大学教育学部修了。高知を拠点に制作活動を行う。主な個展・グループ展に、2004年個展「ニッポンタイムリサイクル」(イヴオンランベール、ニューヨーク)、2008年個展「BIO Topos バイオ・トポス」(MISAKO&ROSEN、東京)、2010年グループ展「現代美術の展望-新しい平面の作家たち VOCA 展 2010」(上野の森美術館、東京)、2011年二人展「東海道新風景山口晃と竹崎和征」(ヴァンジ彫刻庭園美術館、三島)、同年個展「続・東海道新風景」(MISAKO&ROSEN、東京)。2012年グループ展「リアル・ジャパネスク世界の中の日本現代美術」(国立国際美術館、大阪)、また、2013-2014年オランダのアーメルスフォートにあるクンストハレ・カーデで開催のグループ展「ナウ・ジャパン 37人の日本の現代アーティスト」に出展。2014年東京オペラシティーアートギャラリーで開催のグループ展「絵画の在りか」展に出展。

## News Release

## 【展示構成】

## 【1】 竹崎和征によるインスタレーション

展示室に入っすぐ正面の壁に、今現在の竹崎自身がとらえる東海道をインスタレーションにて表現します。

## 【2】 歌川広重の保永堂版「東海道五拾三次」

日本橋から始まり京師までの全 55 点を展示します。旅情豊かに描かれた街道沿いの風景や人物描写をご覧くださいだきます。

## 【3】 山口晃「三島名所圖畫」

山口自身が三島周辺を実際に取材し、架空の景観をつくり出しました。一枚の画面上で時空を混在させ新たな世界を表現した 12 点からなる作品をお楽しみください。

## 【4】 イケムラレイコ「Hiroshige series」

長く海外で生活する作家が広重の「東海道五拾三次」からインスピレーションを感じて描きだした「Hiroshige series」。本展覧会では、新作 22 点を展示します。

## 【関連イベント】

## 【1】 体験型展示コーナー

私の大切な風景

展示室内にいつでも誰でも参加できるワークショップのコーナーを設置。「私の大切な風景」をテーマに、あなたの原風景を絵に描き、壁の日本地図に貼っていきます。

広重の風景を旅する人にヘンシン！

江戸時代の旅人にヘンシンして、広重の時代にタイムトリップ。

富士山おみくじ

美術館の中に「富士山神社」が設置されます。池ヶ谷知宏さんがつくった「富士山おみくじ」を引いてみませんか。

## 【2】 ワークショップ

竹崎さんと一緒にひとつの風景をつくってみよう

現代作家の竹崎和征さんと一緒に展覧会を鑑賞し、絵を切ったり貼ったりしながら、ひとつの風景をつくりましょう。

日時 7 月 21 日(月・祝)13:00-

会場 ビュフェこども美術館 対象 幼児から中学生まで 定員 18 名

富士山のような何かをさがそう

富士山をテーマにさまざまな魅力あふれるプロダクトを生み出している池ヶ谷知宏さんと一緒に、日常の中にある富士山をさがしてみませんか。

日時 8 月 24 日(日)13:30-16:00

会場 ビュフェこども美術館 対象 小学生から中学生まで 定員 10 名

池ヶ谷 知宏(いけがや・ともひろ)

1982 年静岡市生まれ。プロダクトを通じて生まれるコミュニケーションに興味を抱き、2011 年 goodbymarket(グッバイマーケット)を立ち上げる。多くの富士山グッズを開発し、コミュニケーションツールの創造と提案を試みている。



News Release

【3】 『東海道新幹線 各駅停車の旅』トークイベント

『東海道新幹線 各駅停車の旅』(ウェッジ)の著者である甲斐みのりさんに、広重の「東海道五拾三次」にも描かれた場所の魅力について、現代の私たちが出会える風景について語っていただきます。ミュージアムショップでは、甲斐みのりさんが選ぶ東海道具産を展示販売いたします。

日時 9月21日(日) 14:00-15:30 出演 甲斐みのり

会場 ベルナール・ビュフェ美術館 料金 入館料のみ

甲斐みのり(かい・みのり)

文筆家。1976年静岡県富士宮市生まれ、富士宮育ち。大阪芸術大学文系学科卒業。旅、お菓子、クラシック建築、雑貨、音楽、日々の暮らしなどをテーマに、多くの書籍や雑誌で執筆を行なう。『静岡百景』(millebooks)、『甘く、かわいく、おいしいお菓子』(主婦の友社)など、これまでに20冊以上の書籍を上梓。<http://www.loule.net>



【4】 おやつでめぐる「東海道五拾三次」展

美術館に隣接するカフェ TREEHOUSEにて、展覧会に関連した特別デザートをご用意します。

富士山コーヒーゼリー 赤富士いちごゼリー 富士さんクッキー 他

【5】 静岡県発の富士山グッズを紹介

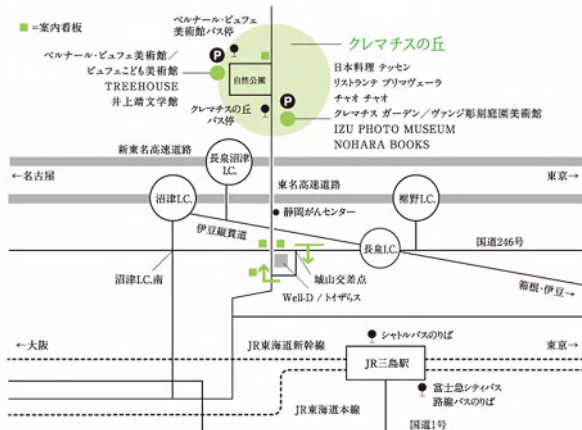
池ヶ谷さんが運営する goodbymarket や三島市の Floyd がプロデュースする富士山グッズをはじめ、富士山をテーマとしたプロダクトの数々をご紹介します。

【2】【3】はお電話にてお申込み。ベルナール・ビュフェ美術館 TEL055-986-1300  
イベントの詳細は決定次第、ホームページ(www.buffer-museum.jp)でお知らせします。

開催中の展覧会

「ベルナール・ビュフェ 1945-1999」

2014年4月12日(土)-2015年6月14日(日)



【アクセス】

お車の場合

【東京方面】東名・裾野 I.C.→R246 経由、沼津方面へ 10 km

【名古屋方面】新東名・長泉沼津 I.C.または東名・沼津 I.C.→伊豆縦貫道(無料区間)へ、長泉 I.C.出口右折、R246 経由 7 km

電車の場合

JR 東海道線[三島駅]下車、北口(3 番乗り場)発、無料シャトルバスあり(所要時間 25 分)

行き「三島駅」北口(新幹線口)発→「クレマチスガーデン」→「ベルナール・ビュフェ美術館」

時間	9	10	11	12	13	14	15	16	17
平日	40	40	40		00	00	00	00	00
土日・祝日	40	40	40		40	40	40	40	

帰り「三島駅」北口(新幹線口)行き:「ベルナール・ビュフェ美術館」発車時刻

時間	9	10	11	12	13	14	15	16	17
平日		10	10	10	30	30	30	30	
土日・祝日		10	10		10	10	10	10	15

## News Release

次の作品について画像資料(デジタルデータのみ)をご用意しています。ご希望の場合は□にチェック(レ)を入れ、必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

掲載の際のお願い ・クレジット表記は画像下の記載に統一してさせていただきますようお願いいたします。

・お手数ですが掲載誌一部をご送付ください。

・ご取材の際は事前に担当者までご一報くださいますようお願いいたします。

貴媒体名

掲載号

発売日/放映日

年 月 日

貴社名

ご担当者名

E-mail

Tel

Fax

ご住所

資料お届け期限

月 日までにご希望

【お問い合わせ】

展覧会担当:伊藤 佳乃

ベルナール・ビュフェ美術館

静岡県駿東郡長泉町東野クレマチスの丘 515-57

TEL055-986-1300 buffet@clematis-no-oka.co.jp

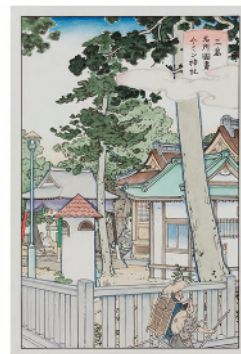
**FAX.055-987-5511**



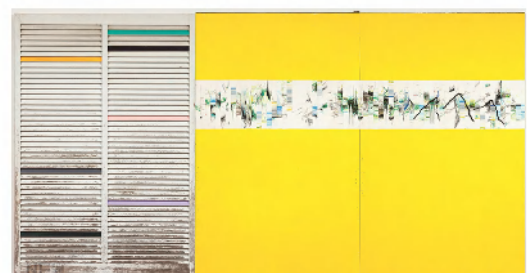
歌川広重『東海道五拾三次』保永堂版《三島 朝霧》1883年頃



イケムラレイコ「Hiroshige series」より2013年  
©Leiko Ikemura



山口晃《三島名所圖畫 ムーミン神社》2011年  
©YAMAGUCHI Akira, Courtesy Mizuma Art Gallery



竹崎和征《54》2009年